

あなたの未来へ

新緑のまばゆい季節となりました。本日、ここに静岡英和女学院の本年度入学式を迎えられた中学1年生70名、高校1年生77名の皆さん、ご入学おめでとうございます。英和での生活の上に神様の祝福をお祈りしています。またご家族の皆様、お嬢様のご入学を心よりお祝い申し上げます。すでに皆様からのご理解とご協力によりまして、本日の日を迎えられたことを心より感謝申し上げます。

人生はよく「旅」にたとえられます。皆さんはそれぞれ卒業された小学校、中学校の旅を終えて、英和女学院の学校生活という新たな旅のスタート地点にいると言えるでしょう。今、その出発がパンデミック（ウイルスの蔓延）で遅れてしまいました。

「旅」を意味する英語に “ Travel ” があります。その由来はフランス語の “ travail ” です。その語源を遡るとお母さんが赤ちゃんを産む時の「陣痛」という意味があります。お母さんにしかわからない産みの苦しみです。それと同様に、旅にはその旅人にしかわからない痛み、苦労があるということです。

今、皆さんは旅の出発に戸惑いを感じていることでしょう。しかし皆さんの旅には教科書という「旅のガイドブック」があり、道案内の先生という「旅のガイド」が寄り添っています。先輩方は「旅の経験者」です。さらにPTA、母の会、同窓会、後援会、地域、教会の皆さん、大学や法人の方々という「サポーター（応援団）」もいます。

出発が遅れても、途中で前へ進めなくても、ゴールを目の前にして止まっても心配はいりません。英和にはオンライン授業など「最先端技術（手段）」もありますが、それ以上にどんな困難が目の前にあっても『聖書』という「羅針盤」があります。航路を失い波間を漂う時にも正しい道を測定することができます。そして今の苦労はあなたの生きる力となり、あなたの未来へとつながります。

すでに英和は「愛と奉仕」の精神で具体的に実践している声が聞こえます。最前線で感染症の方たちと向き合う英和卒業生の看護師の方々が大勢います。生徒と教職員へ一枚ずつマスクを届けて下さった同窓会の方々がいます。ある在校生のお母様からは手作りのマスクも届けられました。そして不足しているマスクや衛生用品を必要な方へ届けようと生徒会も呼びかけを始めました。

「神を愛する」とは、神があなたを愛し、英和生として選ばれたことに感謝することです。そして「隣人を自分のように愛する」とは、他者に関心を寄せ、人の痛みを感じることです。そこから学びが生まれ、祈りが生まれ、互いに愛し合い、あなたの未来へとつながります。

祈りましょう

恵み深い神様、昔、あなたはカナダの宣教師によき志を与え、ここに静岡英和女学院を創立されました。今日、あなたが選ばれた創立133年目の新入生を迎えることができました。あなたへの喜びと讚美、感謝をお獻げします。どうか変わらない「愛と奉仕」の精神と実践を通して、新入生たちの成長をお守り下さい。

今、とても困難な状況で感染者と向き合う看護師、医師の方々を覚えて祈ります。残念ながら心ない誹謗、中傷、差別をします人がいます。しかし無償で食事を提供する人、フェイスシールドを自作してプレゼントする子ども、家の窓から拍手を送る人々がいます。世界の誰もが今、辛く不安の中にありますが、どうか互いに励まし、温かい心で支え合い、ひと時でも早く共に喜び、感謝の時を迎えられますように。主イエス・キリストによってお祈りいたします。アーメン

2020（令和2）年5月11日

校長 **大橋 邦一**